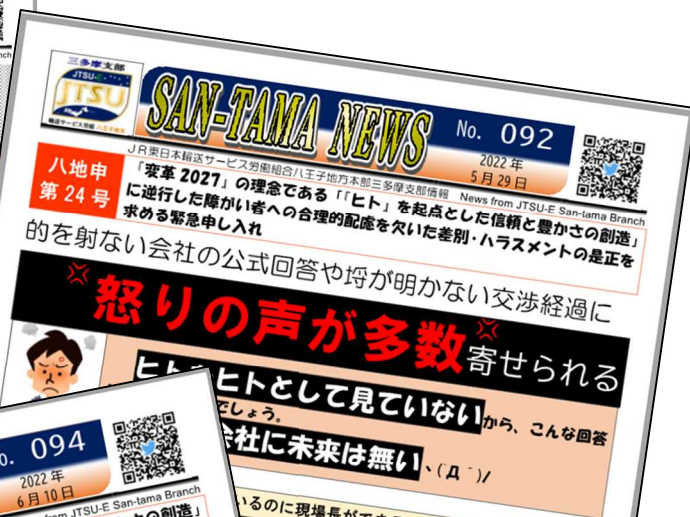




様々なたたかい方があるから、私たちはそれを使うまで

こんな対応でいいわけがない！



聞いていないことに答えていない
と思いませんか？
5月18日の第1回交渉、それも申し入れから1ヶ月近くも経って「慎重に調査した」
(会社答弁) 割にこのような回答を受けた挙げ句、労使認識の一致を図るべく議論を続
けたものの、当事者全てに聴き取りもせず「激励の意だ」とハラスメントを認めないば
かりか、「本人が聞こえない」とした組合の指摘を「聞き取りづらい」と執拗に言い換え
て指摘を受け止めないため、議論が噛み合わずに中断しました。
さらに、5月27日の第2回交渉では当事者全てへの調査結果について回答を求めたところ…
「総合的に判断して回答を差し控える。」
…と、回答そのものを拒否。こんな対応で終わらせていいはずがないでしょう！

だからあつせん申請

申請は即日受理
無駄な行為か？
交渉へ動くか？
申し入れ事項にま
ともに回答せず、挙げ
句は(担当者が激昂し
た上に) 回答を拒否す
る姿勢を貫いたJR
東日本会社に、八王子
地本はついに次の手
を打った。6月30日、
東京都労働委員会に
「あつせん」を申請、
同委員会に即日受理
された。

輸送サービス労組
私たちは社員が
働きやすい労働条件
を維持、向上するため
に数多くの議論を交
わし、(対立もあるが)
合意形成を目指して
きたことは過去の情
報から明らかだ。会社
が今回の申請を軽ん
じて無駄足に終わる
か、過去の情報によ
うな事実を踏まえて交
渉に臨むか、今後の動
向に是非注目してい
ただきたい。

合意形成は労使の丁寧な議論があつてこそ！ 「できなければそこで終了」でいいんですか？